

山形県産和牛の品質の高さ（令和8年8月10日作成）

山形県農林水産部畜産振興課

1. 県内肉用牛飼養頭数

合計	内訳										
	繁殖 雌牛	和牛肥育			F 1（黒毛×ホル）			ホルスタイン			
		小計	めす		去勢	小計	めす	去勢	小計	めす	去勢
41,000	7,490	31,490	23,580 (74.9%)	7,900 (25.1%)	1,820	720	1,100	200	90	110	

山形県の和牛肥育の性別割合は、「めす」が約75%を占めている。

※出典 畜産統計（令和8年2月1日現在）

2. 和牛枝肉格付成績（めす）

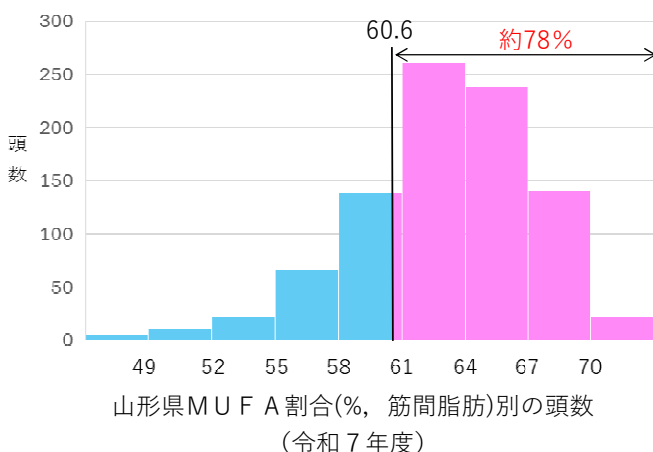
都道府県	格付 頭数 (頭)	順位	内訳					
			上物（4・5等級）			5等級		
			頭数 (頭)	順位	割合 (上物率)	頭数 (頭)	順位	割合
鹿児島	45,522	1	34,430	1	76%	22,841	1	50%
宮崎	25,972	2	18,318	2	71%	12,574	2	48%
北海道	17,990	3	13,436	3	75%	8,896	5	49%
山形	14,010	4	12,426	4	89%	9,345	4	67%
三重	11,519	5	11,142	5	97%	9,997	3	87%
全国	252,594		197,954		78%	140,581		56%

山形県は、和牛めすにおいて、上物（4・5等級）及び5等級の頭数が全国4位となっている。

※出典：「牛枝肉格付情報 格付等級別頭数集計表（令和7年4月～令和8年3月）」
（公益社団法人日本食肉格付協会編）
※格付頭数は歩留等級A、B、Cの合計

3. 牛肉の脂肪の質について

「総称山形牛」は「口溶けの良さ」を表すMUFA※（一価不飽和脂肪酸）の割合が高い。



令和7年度に分析された「総称山形牛」906頭のMUFA割合の平均値は、63.2%となっている。

MUFA割合が60.6%※以上であったのは、全体の約78%（702頭）となっている。

※家畜改良増殖目標（令和7年4月・農林水産省）
MUFA R5年測定平均値

※MUFAとは

一価不飽和脂肪酸（Monounsaturated Fatty Acid）の略称で、代表例であるオレイン酸などを指す。MUFA割合が高い脂肪は低い温度で溶けるため、口当たりが良い（口溶けが良い）とされており、おいしさの指標として扱われる。